



らいふすてーじ 編集部員の の

最近体を張った記事を見かけない、というあなたに贈る、ある編集部員の夏の記録。
(MOD)

歩いて一周 大阪環状線

自宅からJRで大阪駅へ。起点には最も東側にある御堂筋口を選び、時計回り、いわゆる外回りで歩いた。

駅から少し離れると、環状線の高架の下は人影もまばらで「大都市」大阪を歩いている感はない。昼食は鶴橋駅で取った。休憩がてら、駅構内にある喫茶店で定食を食べる。ここで50分過ごした。

しばらくすると、疲労のせいで視線が上がらなくなる。一人

起点および終点：JR大阪駅御堂筋口 10:40発・18:54着
歩いた時間：7時間9分 歩数：37,400歩
歩いた距離：27.3km

で歩を進める寂しさにしめつけられる。一度立ち止まってしまうと歩き出せなくなりそうだったので、ほとんど休憩せずに歩き続けた。

大正駅を過ぎてすぐ、大阪ドームの前で15分だけ休憩する。その後はひたすら機械的に足を動かすばかり。まわりの景色に目をやる余裕もない。

そして再び御堂筋口へ。もうしばらく歩きたくないと思った。



▲大阪駅を示す看板が見えてきた。日は傾いて、空に夜のとぼりが下りつつある



▲弁天町から西九条へは安治川を渡る。写真は歩行者専用の安治川トンネル入口



大阪 10:40 00000歩
天満 11:08 02300歩
桜ノ宮 11:25 03800歩
京橋 11:50 06400歩
大阪城公園 12:22 08500歩

森ノ宮 12:35 09700歩
玉造 12:48 10800歩
鶴橋 13:01 12100歩
桃谷 14:00 13600歩
寺田町 14:18 15100歩

天王寺 14:36 16700歩
新今宮 15:02 18600歩
今宮 15:26 20700歩
芦原橋 15:46 22000歩
大正 16:00 23900歩

弁天町 17:04 26900歩
西九条 17:45 31100歩
野田 18:00 32900歩
福島 18:29 35100歩
大阪 18:54 37400歩



▲JR、京阪、大阪市営地下鉄が集まり賑わいを見せるターミナル駅、京橋



▲桃谷から寺田町へ向かう途中、内回りに走る環状線の電車を撮る

はみだし
すてーじ

やせたいです。どうやったらやせられますか？
⇒とりあえず、歩くことから始めましょう。

(農・2 リーチェ)
(まずは環状線などいかがでしょう；編)

一周一人旅



バイクで一周 琵琶湖

起点としたのは膳所城跡公園。いったんここでバイクを止めて写真を撮った後、すぐ近くの近江大橋を渡って東岸へ。さざなみ街道に入ると信号も交通量も少なく、気持ちがいい。

琵琶湖博物館の隣にある水生植物公園みずの森や彦根で観光に時間を使いすぎてしまった。彦根を出てから当初立ち寄る予定だった長浜を通過し、一気に距離を稼ぐ。

途中、「夏季北行一方通行」の道にぶつかり、予定のルート

起点および終点：膳所城跡公園 10:18発・20:09着
走行時間：5時間 消費したガソリン：4.25L
走行距離：191.3km

から外れることを余儀なくされた。それからもとのルートに復帰するために左折しなければならない交差点を間違えて直進し、かなり距離が縮まってしまった。

日が暮れてくると気温が下がってきた。暑くなると予想して薄手のジャケットを着ていったので、寒いくらいだった。

琵琶湖大橋が近づくと、交通量が多くなる。車の隣をすり抜けて、膳所城跡公園に到着。証拠写真を撮って帰路についた。

近江大橋

10:18発 000.0km

水生植物公園みずの森

10:38着 12:05発 014.2km

休暇村近江八幡

12:45着 13:05発 044.5km

彦根

13:40着 15:22発 066.0km



▲道の駅 琵琶湖大橋 米プラザから夕闇に浮かぶ琵琶湖大橋を撮影



▲出発地点に帰ってきた。歩道橋の上から近江大橋を臨む

はみだし
すてーじ

つかれました
⇒私もつかれました



▲湖畔に鳥居の浮かぶ白鬚神社。「近江の厳島」の称を持つ



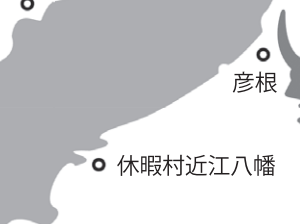
▲道の駅 琵琶湖大橋 米プラザから夕闇に浮かぶ琵琶湖大橋を撮影



▲出発地点に帰ってきた。歩道橋の上から近江大橋を臨む



▲湖畔に鳥居の浮かぶ白鬚神社。「近江の厳島」の称を持つ



▲道の駅 琵琶湖大橋 米プラザから夕闇に浮かぶ琵琶湖大橋を撮影



▲出発地点に帰ってきた。歩道橋の上から近江大橋を臨む

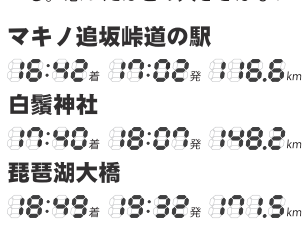
はみだし
すてーじ



▲彦根を出発して20キロほど。湖面に照りつける陽差しが美しい



▲彦根城天守閣を北側から見上げる。思ったほどの大きさはない



▲出発地点に帰ってきた。歩道橋の上から近江大橋を臨む

(工・院 A)
(思った以上に；編)